



《夜の国で青い鳥をつかまえるチルチルとミチル》絵本『青い鳥』より 1969年

ピエゾグラフによる

いwasakiちひろ展

— 子どもの幸せ みんなで楽しむ絵本の世界 —

2014年 9月27日(土) ~ 10月26日(日) 観覧料無料

開館時間 9:00~19:00 ※9月27日のみオープニングセレモニー後10:00開館

休館日 9月29日(月)、10月6日(月)、14日(火)、20日(月)

会場 白鷹町文化交流センター あゆむ AYU:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

主催 白鷹町

共催 白鷹町教育委員会、白鷹町文化交流センター

後援 山形新聞・山形放送、山形テレビ、テレビユー山形、
さくらんぼテレビ、米澤新聞社、米沢日報、河北新報社

協力 安曇野ちひろ美術館

お問合せ 白鷹町文化交流センター ☎0238-85-9071

【白鷹町誕生60周年記念事業】

白鷹町は、昭和29年10月1日に誕生し、今年で60周年を迎えます。記念事業の開催にあたり、テーマを「～つなぐ～美しい白鷹を次の世代へ」とし次代を担う“子ども”を描いた絵本画家いwasakiちひろの作品展を開催します。

【白鷹町誕生 60 周年記念事業】

ピエゾグラフによる

いわさきちひろ展

— 子どもの幸せ みんなで楽しむ絵本の世界 —

いわさきちひろ（1918－1974）は、日本を代表する絵本画家として、多くの人々に親しまれています。生涯に約 40 冊の絵本を描き、雑誌や教科書の表紙など約 30 年の画業の中で 9,400 点を超える作品を残しました。

「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」ということばを残し、ちひろの描いた子供たちは、今もいのちの輝き、平和の大切さを語り続けています。

本展では、にじみを効かせた筆はこび、鮮やかな色合いとともに、没後 40 年を経た現在も、子どもから大人まで多くの人々をひきつけてやまない、心をなごませるいわさきちひろのやさしい世界をご紹介します。



《ガーベラを持つ少女》1970 年頃



《爆撃機》絵本『戦火のなかの子どもたち』1973 年



《アヒルとクマとあかちゃん》1971 年

関連事業

講演会 「母、いわさきちひろ」

日時：9月27日(土) 13:00～14:30
会場：ホール
講師：松本猛氏(ちひろ美術館常任顧問・絵本学会会長)
定員：180名
聴講料：無料。ただし、入場整理券が必要。
※遠方のかたはあゆーむまでご連絡ください

DVD 映画上映 「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」 (2012年 / 海南友子監督 / 96分)

日時：9月28日(日) 14:00～
会場：ホール
定員：180名
入場料：無料
内容：画家いわさきちひろの知られざる人生。貴重な証言でつづる、初のドキュメンタリータッチの話題作。

ギャラリートーク

日時：10月18日(土) 13:30～
会場：ギャラリー内
講師：松方路子氏(安曇野ちひろ美術館学芸員)
内容：作品解説ギャラリートーク

水彩技法体験ワークショップ

日時：10月18日(土) ①10:00～ ②15:00～
※各回 20名ずつ
会場：文化伝承室
講師：松方路子氏(安曇野ちひろ美術館学芸員)
申込：必要 ※事前にあゆーむまでお申し込みください
対象：小学生以上
参加料：無料
内容：いわさきちひろの水彩技法を体験するワークショップ

おはなし会

日時：10月25日(土) 10:00～
会場：文化伝承室
内容：『白たか子どもの本研究会』による絵本の読み聞かせ



白鷹町文化交流センターAYU:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地
TEL.0238-85-9071

【アクセス】■お車でお越しの場合
山形市より国道348号線で約35分
■電車でお越しの場合
赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線(荒砥行き)で
「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分
フラワー長井線でお越しください